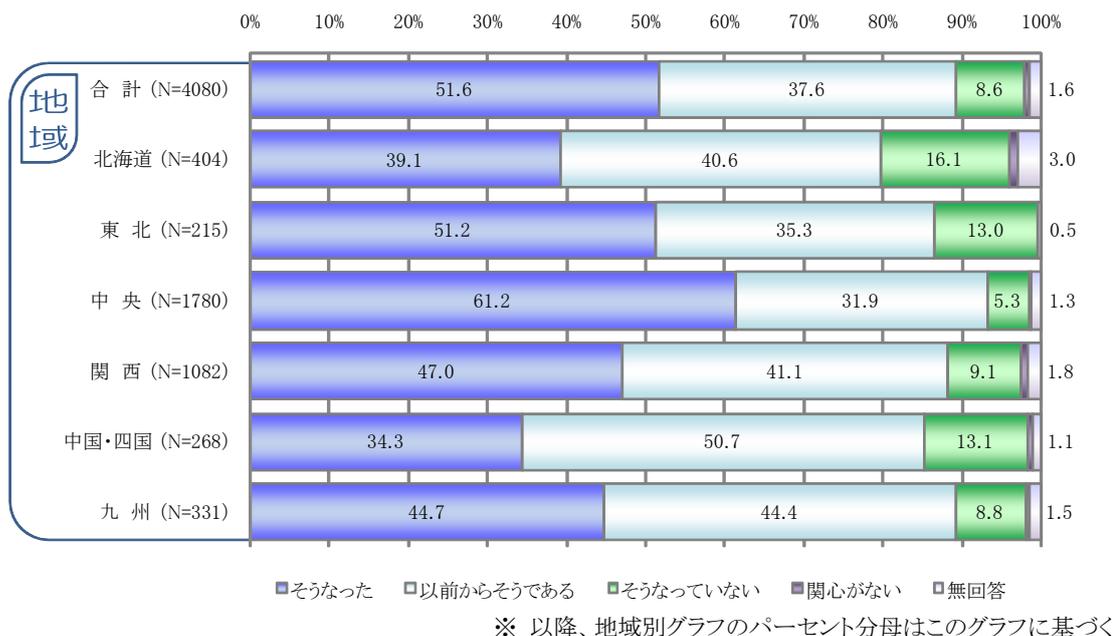


調査結果の紹介

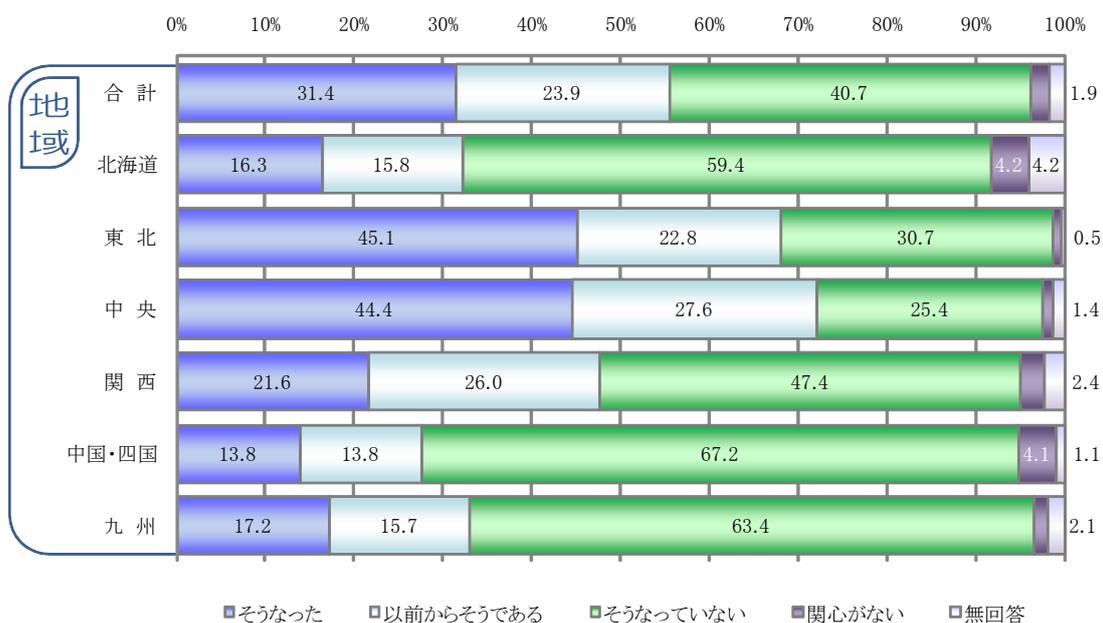
◎ 震災前とのくらしや考え方の変化には地域差がみられた

- ・ 「節電」など、くらしの中で全国的に意識が高まっているものや、「備蓄」や「家族との時間」など、被災地や都市部など地域によって意識に差異がある項目もみられた。

【問8-1】大震災前より節電するようになった

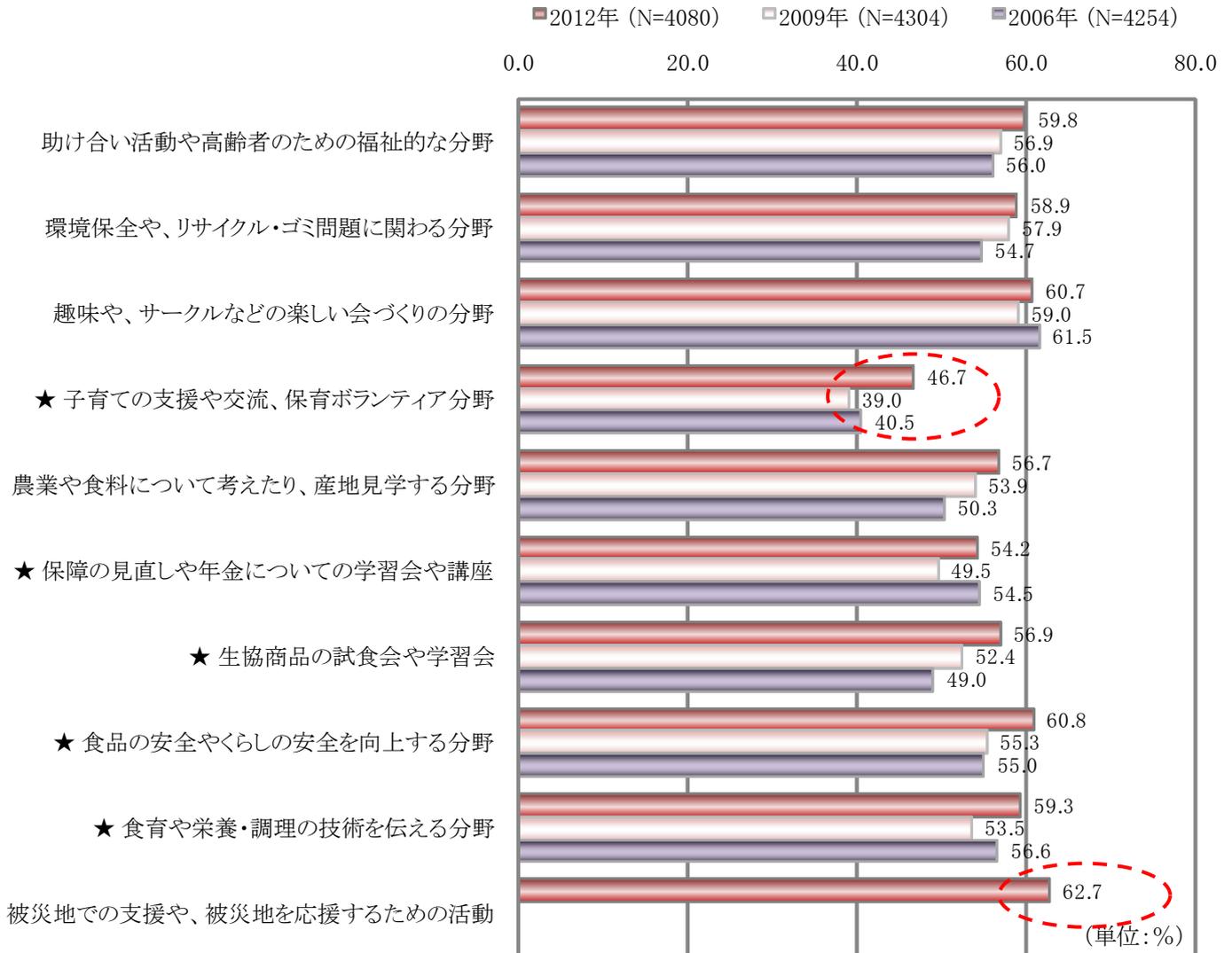


【問8-5】災害に備え、水や食料などを備蓄するようになった



- ・ 震災支援をはじめとした市民活動への参加意欲が出てきている。

【問12】 市民活動への参加（経年比較）



※ 「被災地での支援や被災地を応援するための活動」という選択肢は2012年調査のみ。

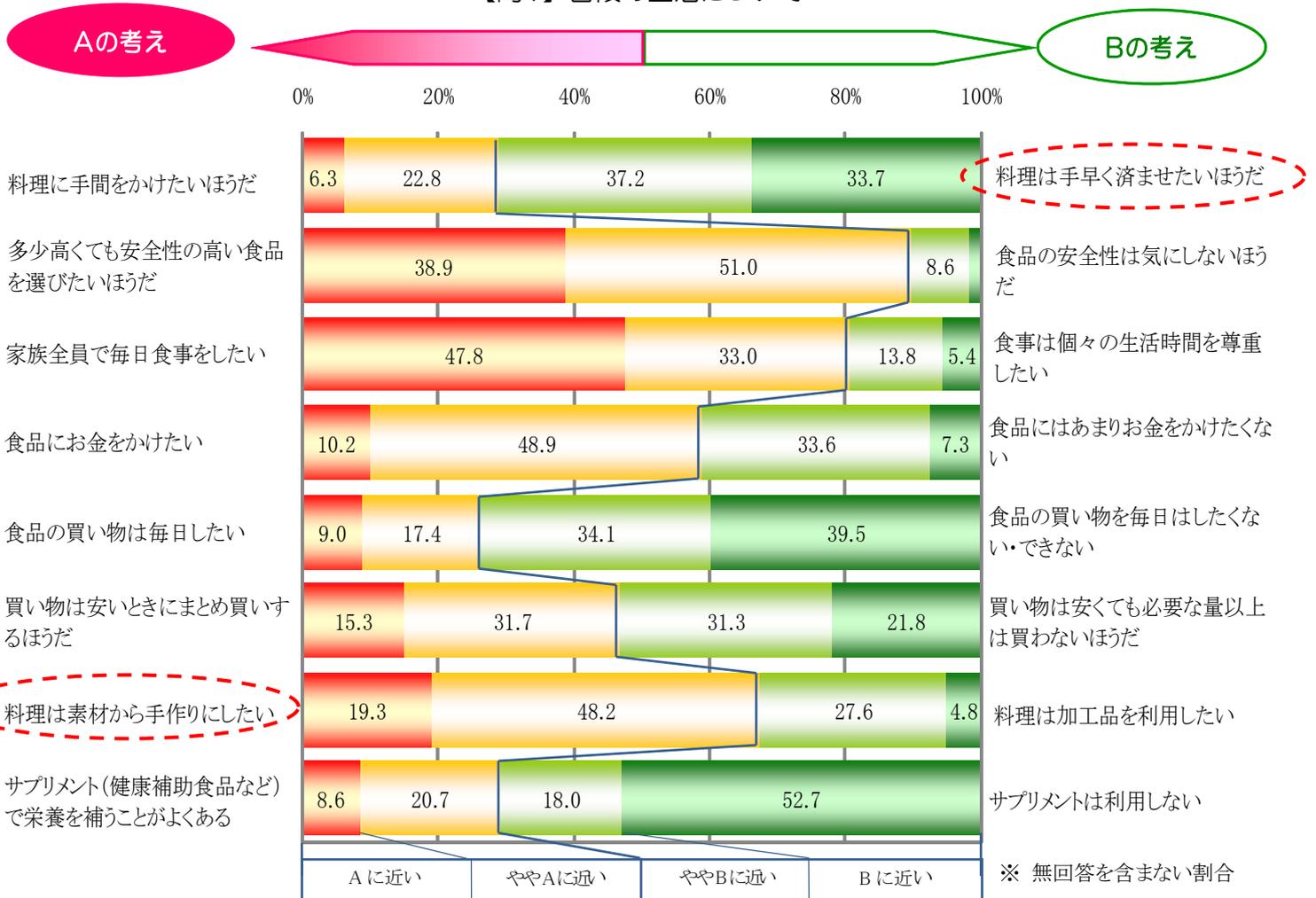
※ 「生協の活動で参加したい」「生協以外の場で参加したい」「いずれでも機会があれば参加したい」を合計したもの

※ ★印は2009年調査よりも4ポイント以上増加している項目

◎ 食事は「手作り」だが「手早く」したい志向が強まった

- ・ 「料理は素材から手作りにしたい」が 68%と高い一方、「料理は手早く済ませたいほうだ」が 71%と、手作りにしたい志向と同時に、簡便性・利便性の志向も高かった。

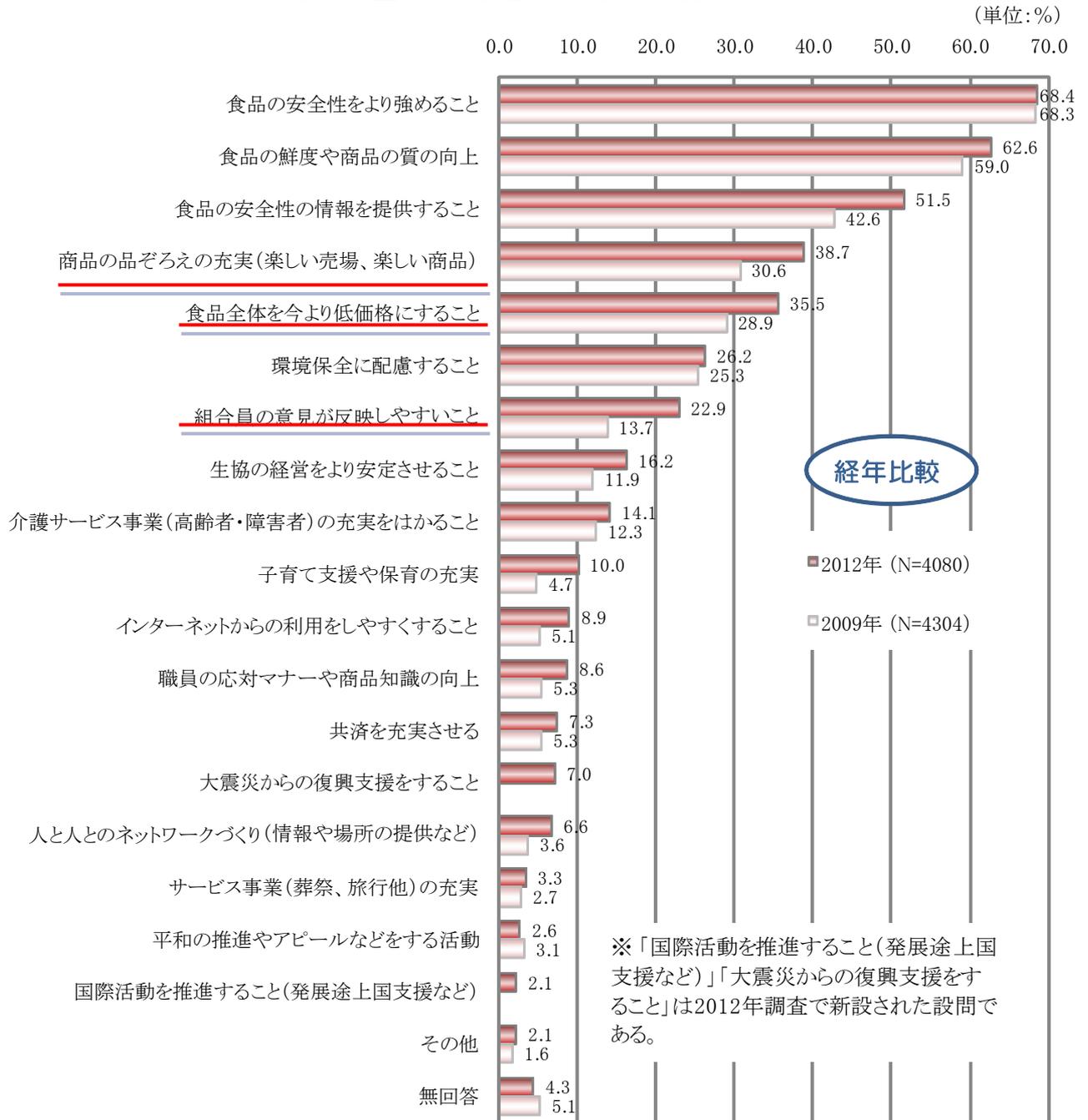
【問1】 普段の生活について



◎生協への期待は「食品の安全性」だけでなく「便利」「低価格」にも寄せられている

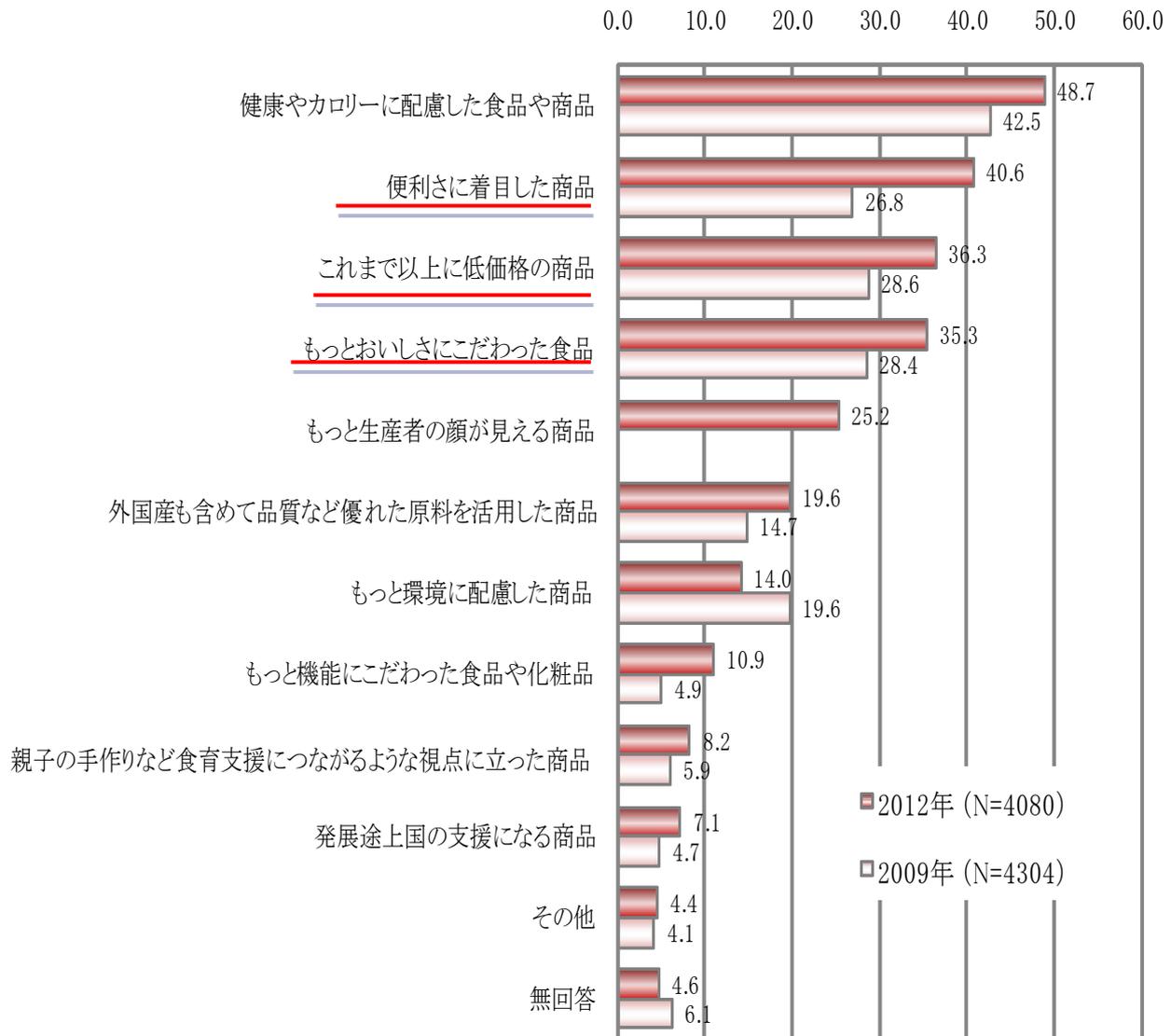
- ・ 生協に対して「安全」「安心」のイメージは変わらないが、「便利」「低価格」にも期待が寄せられている。

【問22】 生協に対する期待・要望（複数回答）



【問19】生協の新商品開発において優先すべきと思うこと

(単位:%)



※ 2009年調査には「もっと生産者の顔が見える商品」という選択肢はない。